

講習の名称	【選択】教育の原点となるコーチング学	講習番号	C-1
開催日	平成29年8月4日(金)	定員	80名
主な受講対象者	小学校教諭、中・高等学校保健体育教諭		
担当講師	竹澤 稔裕(経済学部専任講師)		
講習の概要	<p>多くの人は、実際に起こりそうな不安な出来事を、あれこれと想像しながら生活しがちです。つまり良くない結果にばかり注目してしまうことで成功から遠ざかってしまうのです。自らの可能性を最大限に引き出すための力を養い、その力を広げていきましょう。本講座ではコーチングにおける脳と心の仕組みについて解説していきます。また、後半は仲間学習を実施し、お互いの授業づくりの一助となるよう考えていきましょう。</p>		
講習計画	09:00～10:00 (60分)	<b>本講座におけるコーチング理論</b> 本講座における全体の趣旨を説明します。自分がこれからどのような生活を送りたいのか、どうしたいのかを真摯に考え、本講座のコーチング学の基礎を養っていきます。	
	10:00～10:10	休憩	
	10:10～11:10 (60分)	<b>脳と心のしくみ</b> 脳と心の仕組みを理解し、自分で自分自身をコントロールする術を考察します。	
	11:10～11:20	休憩	
	11:20～12:20 (60分)	<b>セルフトークの活用</b> 普段何気なく使っている会話に注目します。人間は「言葉」「映像」「感情」の3つの軸でものを考えています。そのことを理解し、セルフトークの良い活用法を考察します。	
	12:20～13:00	昼食休憩	
	13:00～14:00 (60分)	<b>仲間学習モデル①</b> 仲間学習モデルについて理解し、実技運動における簡単な指導案を作成します。	
	14:00～14:10	休憩	
	14:10～15:10 (60分)	<b>仲間学習モデル②</b> 仲間学習モデル①で作成した指導案を基に、授業を展開します。	
	15:10～15:20	休憩	
	15:20～16:20 (60分)	<b>試験</b> 筆記試験を行います。	
	16:20～16:30	事後評価アンケート	
成績評価の観点	本講義におけるコーチングのあり方を知識として理解しているかと、後半の実技における関心・意欲・態度を評価の観点とします。		
備考			